

教科(科目)	工業（デザイン史）	単位数	2単位	学年(コース)	3学年（産業デザインコース）
使用教科書	東京電機大学出版局 『デザイン史』				
副教材等					

1 学習目標

工業の見方や考え方を働かせ、造形とデザインの歴史を理解させ、実際に創造し鑑賞する能力と態度を育成することを目指す。

2 指導の重点

- ・デザインについて歴史的な背景を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ・歴史的なデザイン事例からデザインに関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。
- ・歴史的なデザイン事例と造形方法を踏まえて独自のデザインする力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7 8	1 日本のデザイン	a. 古代の生活と造形 b. 中世の生活と造形 c. 近世の生活と造形 d. 近代の生活デザイン	ア 原始から古代（飛鳥、奈良、平安）にかけての特有の住まいや暮らし、外来技術者、渡来や大陸文化摂取について学ぶ。 イ 鎌倉、室町時代の住まいと暮らし、生活用具、工芸技術などについて学ぶ。 ウ 桃山、江戸時代の様々な造形文化について学ぶ。 エ 西欧文明の影響を受け、封建的社会から近生活へ脱皮していく明治、大正時代の生活様式と各種造形物について学習する。	26	出席状況 授業態度 プリント課題 中間考査 期末考査
9 10 11 12	2 西洋のデザイン	a. 古代の生活と造形 b. 中世の生活と造形 c. 近世の生活と造形 d. 近代デザインの成立と展開	ア オリент、エーゲ海、ギリシャ、ローマなど古代の生活様式や各種建築様式、造形物について理解を深める。 イ 初期キリスト教文化、ビザンチン、イスラム、ロマネスク、ゴシックなどの文化について学習し、それぞれの時代の造形物や建築様式について知識を深める。 ウ ルネッサンス、バロック、ロココについてそれぞれの時代に生まれた様々な造形物、造形様式について学ぶ。 エ イギリスの産業革命に端を発した近代デザインについて学び、近代から現代に至るデザイン活動の変遷について理解を深める。	26	出席状況 授業態度 プリント課題 中間考査 期末考査
1 2	3 現代のデザイン	戦後の社会問題とデザインの関連	第二次世界大戦以降の急激な産業の発展に伴い、公害、資源枯渇、環境破壊など様々な問題が生じたことを前提に、世界各国の人々の生活を豊かにするためのデザインとは何かを探究する。	18	出席状況 授業態度 プリント課題 中間考査 期末考査

4 課題・提出物等

…知識の定着を図るため、課題・レポートなどの提出物を求めます。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)	(知識・理解)
デザイン史について、その内容に興味や関心を持ち、意欲的に理解しようとしている。	これまで学習したデザインに関する知識とデザインの歴史の関連性について自ら考え、活用し表現することができる。デザイン史に登場する各種デザイン様式に関する知識を身につけることができる。	各時代のデザイン様式について基礎的知識を身に付け、時代によるデザインの考え方の変化について理解している。
以上の観点を踏まえ、デザイン史の基礎的知識や社会におけるデザインの成り立ちや役割について理解を深めているか、課題やレポート、考査などから総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

デザインの成り立ちから世界各国のデザイン様式に触れる授業です。写真や映像などを利用し視覚的に造形物を見ることで理解を深めます。また、美術館や博物館の観覧などの課題を課すこともあります。